

2017/5/17 □

□■

【第 29 - 3 号】 □■□

本メールマガジンは山梨大学 新技術情報クラブ会員の皆様へ最新情報をお知らせする目的で配信しております。メール配信を希望されない方は、「配信停止」とお書きの上、ご返信ください。

インフォメーション 目次

-
- | | | |
|------|-------------|-------|
| 01 : | プレスリリース | (2 件) |
| 03 : | 助成事業、公募情報 | (5 件) |
| 02 : | イベント案内、お知らせ | (2 件) |
-

-
- ■01 プレスリリース (2 件) ■
□■
-

[1]5/10 グリア細胞が脳を外傷から保護するメカニズムの解明
—ミクログリアによる神経保護的アストロサイトの誘導—
<http://www.yamanashi.ac.jp/prerelease>

山梨大学医学部薬理学講座 小泉修一教授及び篠崎陽一講師の研究チームは、慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室 田中謙二准教授、生理学研究所 分子神経生理部門 池中一裕教授のチームと共同で、マウスを使った実験によって脳内の「グリア細胞」と呼ばれる細胞群が、外傷性脳損傷から脳を保護する仕組みを明らかにしました。脳には複数種類のグリア細胞がありますが、そのうち先ず「ミクログリア」がTBIを感知し、その情報を「アストロサイト」に伝えることで、脳を保護するメカニズムが働きます。また、これら異なるグリア間での協調的な脳保護作用の分子メカニズムとして「グリア伝達物質受容体」の発現低下が必須であることを発見しました。

[2]平成 29 年度「山梨大学大村智記念基金奨学金授与式」 举行について
<http://www.yamanashi.ac.jp/prerelease>

山梨大学では、昨年度から大学独自の返還不要の「給付型」奨学金制度を創設しました。本年度も、奨学金授与式を開催します。

【日時】平成 29 年 5 月 17 日（水） 16 時 30 分開始（1 時間程度）

【会場】山梨大学 本部管理棟 本部管理棟 5 階 第一会議室

【対象】医学部医学科 5 年生 3 名、その他の学部 新入生 15 名

[1] 経済産業省 関東経済産業局

5/10 平成29年度「農商工連携促進支援事業」の公募開始
<http://www.noshokorenkei.jp/>

1. 事業概要・目的

「平成29年度農商工連携促進事業」は、中小企業者と農林漁業者が有機的に連携し、それぞれの経営資源を有効に活用する農商工連携の取組を促進するために、農林漁業者のニーズを吸い上げ、それを中小企業者の有する技術と上手く組み合わせることにより、農商工連携による新事業を創出することを目的とします。

本事業では、管理事務局（株式会社ジェイアール東日本企画）が農商工の連携を促進する実施機関を選定し、公募要領（※下記よりダウンロード）に記載する業務について支援します。

尚、以下、2つを合わせた機関を「実施機関」とします。

「地域実施機関」：市町村等の単位の民間団体等

「広域実施機関」：都道府県以上の広域ブロックの民間団体等

2. 応募書類 <http://www.noshokorenkei.jp/>

公募要領等は、ホームページからダウンロードしてください。

3. 公募期間

平成29年5月1日(月)～平成29年5月31日(水) 12:00【メール必着】

4. 提出書類送付先および問い合わせ先

農商工連携促進事業事務局 室伏・山崎

E-mail: info@noshokorenkei.jp

[2] 5/15 NEDO 公募開始

「IoT 推進のための横断技術開発プロジェクトの周辺技術・関連課題における小規模研究開発」に係る公募

http://www.nedo.go.jp/koubo/IT2_100023.html

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」という。）は、下記事業の実施者を一般に広く公募いたしますので、本件について受託を希望する方は、下記に基づき御応募ください。

1. 事業内容

(1) 概要

世の中に存在するあらゆるモノ（商品、物体、設備）がセンサを備えると共に、それらがインターネットに接続される IoT (Internet of Things) 社会が進展し、新たなサービスやビジネスモデルを生み出しつつあります。

本事業は、NEDOにて現在実施中の「IoT 推進のための横断技術開発プロジェクト」において、さらなる技術シーズの発掘・育成や技術課題の解

決を目的とし、我が国発で独創的な製品・サービス等を可能とする革新的な次世代 IoT 基盤技術の実現に関連する周辺技術や技術課題の研究開発を募集します。なお、採択予定件数は若干数を予定しています。

(2) 事業期間 平成 29 年度

2. 応募書類、公募要領等

ホームページからダウンロードしてください。

3. 公募期間

平成 29 年 5 月 15 日(月)～平成 29 年 5 月 29 日(日)

4. 問い合わせ先

IoT 推進部 担当者：大西、奥村、千田

FAX：044-520-5212 E-MAIL：iot@ml.nedo.go.jp

[3] 平成 29 年度「省エネルギー投資促進に向けた支援補助金（省エネルギー投資促進に向けた支援補助事業のうちエネルギー使用合理化等事業者支援事業）」の公募期間及び公募説明会の開催

http://www.enecho.meti.go.jp/appli/public_offer/1704/170426a/

平成 29 年度「省エネルギー投資促進に向けた支援補助金（省エネルギー投資促進に向けた支援補助事業のうちエネルギー使用合理化等事業者支援事業）」の公募期間及び公募説明会の開催が決定致しました。公募説明会に関しましては事前エントリー制となりますので、執行団体（一般社団法人環境共創イニシアチブ）のホームページよりエントリーください。よろしくお願いいたします。

1. 公募期間

平成 29 年 5 月 25 日（木）～平成 29 年 6 月 26 日（月）

2. 公募説明会

（日時）平成 29 年 5 月 11 日（木）～平成 29 年 5 月 24 日（水）

（場所）全国 11 箇所

（参加費）無料

（申し込み）<https://sii.or.jp/cutback29/public.html>

※公募説明会の事前エントリーは 4 月 26 日（木）より、一般社団法人環境共創イニシアチブのホームページにて受け付けております。

3. 制度概要（平成 29 年 5 月 1 日 更新）

平成 29 年度「省エネルギー投資促進に向けた支援補助金（省エネルギー投資促進に向けた支援補助事業のうちエネルギー使用合理化等事業者支援事業）」

http://www.enecho.meti.go.jp/appli/public_offer/1704/170426a/pdf/1.pdf

4. お問い合わせ先

経済産業省 資源エネルギー庁 省エネルギー・新エネルギー部
省エネルギー課

電話 03-3501-9726 FAX 03-3501-8396

※平成 29 年度より、「エネルギー使用合理化等事業者支援補助金」は「省エネルギー投資促進に向けた支援補助金（省エネルギー投資促進に向けた支援補助事業のうちエネルギー使用合理化等事業者支援事業）」に名称変更致しました。

[4] 平成 29 年度 創業・事業継承補助金

<http://sogyo-shokei.jp/>

平成 29 年 5 月 8 日（月）平成 29 年度創業・事業承継補助金サイトをオープンしました。

1. 「事業継承補助金」の概要

<http://www.chusho.meti.go.jp/zaimu/shoukei/2017/170501shoukei.htm>

2. 募集期間 平成 29 年 5 月 8 日（月）～6 月上旬頃（予定）

3. お問い合わせ先

創業・事業承継補助金事務局

〒104-0045 東京都中央区築地 3-17-9 興和日東ビル 3F

創業・事業承継補助金事務局

4. お問い合わせ時間

10：00～12：00、13：00～17：00／月曜～金曜（土日祝除く）

○お問い合わせは、お電話にてお願いします。TEL：03-5148-7051

[5] 平成 29 年度 産業振興事業費補助金

（ダイナミックやまなしいノベーション研究開発補助金）について

<http://www.pref.yamanashi.jp/shinjigyo/kenkyukaihatsu/sangyoshinko.html>

1. 補助金制度の目的

山梨県のものづくり産業の活性化を図るため、今後成長が期待される産業分野への進出を促進し、経営革新や業種転換を進める中小企業の研究開発を支援することにより、本県産業の高度化と競争力の高い産業集積の形成を図ることを目的としています。

2. 募集期間

第 1 回募集：平成 29 年 5 月 8 日（月）～6 月 9 日（金）

※産総研連携枠の募集は第 2 回募集を予定しています。

※第 2 回募集は平成 29 年 8 月下旬～9 月下旬を予定しています。

3. 応募書類提出先

山梨県産業技術センター（管理・連携推進センター）

・甲府技術支援センター

〒400-0055 甲府市大津町 2094 TEL：055-243-6111

・富士技術支援センター

〒403-0004 富士吉田市下吉田 6-16-2 TEL：0555-22-2100

4. お問い合わせ先

山梨県産業労働部 新事業・経営革新支援課 新分野進出担当

〒400-8501 甲府市丸の内 1-6-1 TEL：055-223-1565

□■

■03 イベント案内 & お知らせ （2 件）

[1] 連続市民講座(2017) 第 2 回 5/21（土）開催

山梨大学は今年度も読売新聞甲府支局と共催し、「未来に向けて～過去から現在そして未来～」と題した全10回の連続市民講座を開催中です。山梨発の“チカラ”を活かして創り出された新しい技術や、医療の進歩による未来、心を豊かにする文化についてとりあげます。聴講は無料です。7回以上出席した聴講者には修了証書「Master of Future」を授与させていただきます。

○会場 山梨大学 甲府東キャンパスA2-21教室（地図）

○定員 330人

○時間 午後1:30～3:00まで（午後1時開場）

○受講料 無料

【テーマ】大学から新しい医療技術を創り出す～難病への大学の挑戦～

【講師】副学長 岩崎 甫 先生

【講義の概要】

日本は世界の中でも平均寿命が長い国の一つで、昔に比べると、多くの病気に良い療法があります。それでも、治療が困難ながんなどの病気はまだ多く、より良い治療法が求められています。これまでは新しい治療法のほとんどは製薬会社などが創り出してきましたが、最近は大学などの研究機関から新しい治療法が創り出されることが世界的に多くなってきました。日本でも大村智先生の研究やiPS細胞などノーベル賞を受賞するレベルの高い研究が大学や研究施設で行われています。これらを上手に活用して、新しい医療を社会に提供する取り組みが進んでいます。新しく提供されようとしている医療技術には、重症な心臓病に対する細胞シート、脊髄損傷からのマヒに対する幹細胞治療、脳の指令を上手に活かすロボットスーツ、がん細胞だけを破壊するウイルス療法など画期的なものも多く、これらの展開に大きな期待が持たれています。山梨大学でも医学部と工学部が共同で新しいがんの診断法やリハビリテーションの支援装置などが創り出されようとしており、地元の企業と連携しての新しい器具作りも始まっています。

この講座では、このような大学発の新しい医療技術の創出についてその現状を紹介します。

[2] 公益社団法人 山梨科学アカデミー 交流大会

<http://www.tyaos1995.or.jp/pdf/H2905academy-seminar.pdf>

山梨科学アカデミー交流大会が開催されます。
山梨科学アカデミー奨励賞授与式・受賞講演に加え、
県立図書館館長の阿刀田高氏の特別講演が開催されます。

【日時】2017/5/29（月）16:00～

【会場】ベルクラシック甲府

<http://www.bellclassic-kofu.com/access/index.html>

甲府市丸の内1丁目1-17 TEL 055-254-1000

【プログラム】

●第22回 山梨科学アカデミー奨励賞 授与式

（16:00～16:40）

(1)アカデミー賞 山梨大学 名誉教授 園家啓嗣 氏

(2)奨励賞

山梨大学大学院総合研究部 助教 山本泰生 氏

山梨大学大学院総合研究部 教授 鈴木俊二 氏

山梨大学 医学部 講師 猪爪隆史 氏

●第22回 山梨科学アカデミー奨励賞 受賞講演

(16:45～17:50)

(1)「溶射技術による製品の高付加価値化の実現」

山梨大学 名誉教授 園家啓嗣 氏

(2)「深層知識を獲得するストリームデータマイニングの研究」

山梨大学大学院総合研究部 助教 山本泰生 氏

●特別講演 (18:00～19:10)

「知的創造の作法」山梨県立図書館 館長 阿刀田 高 氏

●情報交換会

●申し込みについて

<http://www.tyaos1995.or.jp/pdf/H2905academy-seminar.pdf>

【申込方法】リンク先のチラシを参照ください。

当日参加受付も可能です。

【申込先】山梨県庁私学・科学振興課内

公益社団法人山梨科学アカデミー事務局

TEL:055-223-1312, FAX:055-223-1781



- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
- 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。

